

## 経営体の概要

- ・所在地：茨城県笠間市
- ・経営体名：M農園
- ・栽培作物・作付面積：水耕大玉トマト37a
- ・従業員数：6名（うち3名パート）（令和元年8月現在）

## 導入技術

- ・環境測定装置（（株）誠和）
- ・炭酸ガス発生機（（株）ネッソ）
- ・細霧冷房装置（（株）ノーユー社）
- ・ハウスのかさ上げ工事（誘引高220cm→280cm）



写真1 炭酸ガス  
畦内ダクト設置

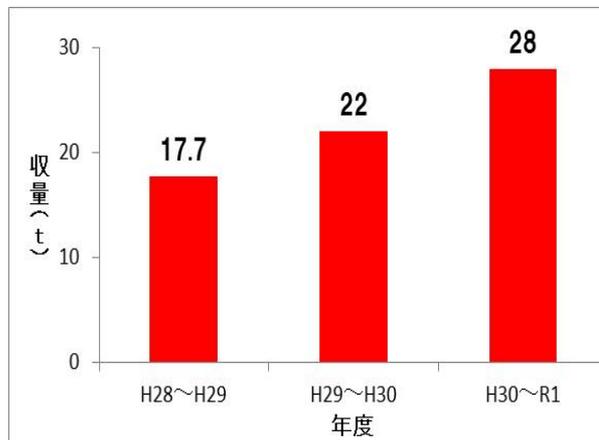


図1 10a収量の推移

## 導入経緯

- 平成25年度に環境測定装置を導入し、「ハウス内環境の見える化」を図るとともに、トマトの多収技術について取り組みを開始した。
- 県単の補助事業を活用して、炭酸ガス発生機（H29）や細霧冷房装置の導入（H30）、ハウスのかさ上げ工事（H30）による光環境改善等に取り組んだ。

## 取組の特徴・効果

- 環境測定装置導入により、「ハウス内環境を見える化」し、改善すべき点を把握できた。
- 炭酸ガス発生機や、細霧冷房装置の導入、ハウスのかさ上げ工事等により、ハウス内環境を改善した。
- 普及指導員の支援を受けながら、平成29年度より週1回生育調査（茎伸長量、開花花房距離、茎径）を行い、植物の状態にあわせた、温湿度や培養液管理を実施している。
- 収量の増加に対応するため、新たな販路を開拓した（生協出荷）。
- 取り組みの結果、10a収量は増加し、品質も向上した。（過去3年間の収量は17.7→28t（158%）に増加）

今後は、統合環境制御盤を導入し、10a収量35tを目指して取組を進めたい。